

## 平成23年度第10回 落合第一地区協議会の概要

日 時	平成24年1月10日(火) 午後7時00分～9時00分
場 所	落合第一地域センター3階 集会室
出席者	委 員 18名 特別出張所: 村山所長、佐藤副所長、新川主査、関口まちづくり活動支援員
協議内容	1. 代表挨拶 2. 議 事 1)猫問題について 2)PTからの報告 3)地区協フェスタの会計報告 4)第4期地区協委員の募集について 5)センターまつりへの参加について 6)聖母坂無電柱化について、地区協としてどう協力していくか 7)自治基本条例勉強会について 8)その他の課題について 9)その他
配付資料	①平成23年度第4回「広報PT」会議概要、みどりの風かわら版第10号 ②平成23年度第11回「みどり・環境PT」会議概要 ③地区協フェスタ会計報告 ④落合第一地区協議会第4期委員募集！！ ⑤まちの先生見本市 ⑥あなたの町でも始めませんか地域ねこ対策 ⑦人と猫との調和のとれたまちづくり

### 1 代表挨拶

- ・ 本日は、地域猫問題に地区協としてどのように関わっていくかを検討するため、保健所の方とボランティアの方にお越し頂いている。話を聞いて、我々地区協がどこまで協力できるかを探っていきたい。

### 2 議 事

#### 1) 猫問題について（新宿区保健所衛生課 配布資料⑥、⑦参照）

##### ◎ 地域猫問題の概要（新宿区保健所衛生課）

- ・ 野良猫が起こす糞尿、車が傷つけられるなどの問題について、区役所と地域で手を取り合って解決して行こう、地域の問題を地域で解決して行こう、という事で「地域猫活動」という名前になっている。
- ・ 具体的な活動としては、「配布資料⑦P4 ステップ2」にあるように、正しい餌やり、トイレの設置、去勢・不妊手術等を行っている。これらの活動により、発情期の鳴き声や雄猫によるマーキング行為もなくなり、被害が軽減される。
- ・ 猫に餌を与えている方々は、野良猫がどこに何匹いるか、どこで子どもが産まれたかなど、野良猫に関する様々な情報を知っている。そういった方々をこの活動に参加させたい。

##### ◎ 活動の詳細

- ・ 新宿区保健所は、ボランティアや地域の方々と一緒に、地域の特性に合わせたチラシを作成する等、広報活動の手伝いをする。
- ・ 保健所からは、雄に5千円、雌に9千円の助成金を出しているが、それだけではまかないきれない。ボランティアの方々だけではすぐに限界が来てしまうので、町会と手を携えて

活動していきたい。

- ・ 高田馬場4丁目には町会に猫担当の部門があり、2年間で140匹去勢手術をしたという実績がある。
- ・ 勝手な餌やりをしている方に地域猫活動に加わってもらい、迷惑な行為をする事から、町をきれいにするための活動家になってもらいたい。
- ・ 猫の捕獲について回覧板等で地域に告知し、飼い猫を間違えて捕獲する事が無いよう、家猫は外に出さないように呼びかける。
- ・ 去勢や避妊手術を施した猫の耳にはV字カットを入れ、手術していない猫と区別できるようにしている。これにより、一度手術をした猫を再度捕獲する事もなくなる。また、手術したという事がただでわかるので、地域の方々の安心感にもつながる。
- ・ 掲示板やチラシを作成し、地域ぐるみでこういった活動をしている事を周知する事で、町のコミュニケーションも円滑になり、住みやすくなる。その為に、新宿区では地域猫活動を進めている。

#### ◎ ボランティアの活動（上落合東部町会）

- ・ 野良猫は、去勢・不妊手術をしなければ数は減らない。町会を含む地域住民の方々の理解と協力がこの問題の解決につながる。
- ・ 誰が野良猫に餌やりをしているのかを調査していたところ、道すがら、餌をばら撒く方を見かけた。餌をばら撒くと、蟻やカラス、ネズミ等が寄ってきて、衛生上問題が生じる。
- ・ 手術をする際には、「置き餌をしないでください。いついつ手術をします」という張り紙をしている。手術後は、民生委員の力を借りて、元の場所に放すようにしている。
- ・ ボランティアの力だけでは限度があるので、地域の方々や町会の力を借りて活動したい。

#### ◎ ボランティアの活動（下落合2丁目）

- ・ 「下落合地域猫の会」は、平成19年より、個人で野良猫活動をしていたものが、新宿区保健所立会の下、平成23年10月29日に発足。当初4名で活動していたが、現在は2名。
- ・ 会の主旨は、下落合環境保全の一環となる野良猫対策。住民の方々と野良猫との共生を願い、野良猫をこれ以上増やさない事を目的として活動している。
- ・ 具体的には、野良猫の保護、捕獲、手術、術後の餌やり、トイレ管理をしている。
- ・ 一番重点を置いているのが、住民への聞き取り調査。昨年10月末から、野良猫が多く見られる場所で聞き取り調査をしたところ、81.8%の方が「困り事有り」との回答だった。  
困り事1位・・・「間違えた餌やり」、「糞尿問題」  
困り事3位・・・「猫の増加と虐待」
- ・ 調査結果を踏まえ、野良猫を増やさない為に、捕獲・去勢・不妊手術を行っている。更に、この活動を広報する事で、下落合が快適な生活空間であることを知って頂き、地域住民の方々に協力してもらえよう努力をしている。具体的には、東町会の協力の下、活動報告を掲示板に掲示させてもらう事になった。
- ・ 餌やりについては、実際に餌やりしている人に、保健所から指導された正しい餌やりをレクチャーしている。この指導により、少しずつではあるが地域の方々に理解されてきている。
- ・ 糞尿問題については、自宅に庭がある方には猫トイレを設置している。これにより、かなり改善されてきた。
- ・ 猫の侵入で困っているお宅には、侵入防止の砂を差し上げたり、散布したりしている。この砂には科学物質が含まれておらず、環境にもやさしく、猫の侵入にも大変効果がある。
- ・ 猫の虐待については、下落合派出所、戸塚警察署、新宿区保健所、下落合東町会、落合第4小学校に口頭および書類で情報提供し、動物虐待行為が他に波及しないよう、防犯パトロールの強化をお願いした。

## ◎ 今後の課題、希望

- ・ この活動の意味を広く、深くご理解頂き、支援・協力頂く必要がある。その為に、町会での公的な位置付けがあれば良いと思う。
- ・ 事務的、資金的な部分に問題がある。会員2名では人手が足りない為、現在は、高田馬場地区から応援部隊の力を借りている。地元住民の手で活動するには、住民、町会の協力が必要。町会に少しでも支援して頂きたい。
- ・ トイレの設置場所を探し、確保するのに、ボランティアだけでは情報が少ない。地域住民の積極的な応援を頂くためには町会の力が必須。
- ・ 隠れて餌やりする方々に出てきて頂くのに、新宿区保健所の名前で呼びかけるのと、町会の名前で呼びかけるのとでは、町会で声をかけた方が安心して出てくると思う。
- ・ 地域猫活動は町会が大きな鍵となっている。町会の支援、他地域との情報交換、連携プレーができるネットワーク作りが必要だと考えながら活動を続けている。

### ■ 質問1

活動しているボランティア同士の、横の連携はあるのか。

### ● 回答1

個人で活動している方がいらっしゃるので、誰がどこの地域で活動しているかを、マップを作成して管理をし、連絡を取り合いながら活動している。

### ■ 質問2

猫を捕まえるトラップとトイレは、どのようなところに設置しているのか。

### ● 回答2（新宿区保健所）

トラップやトイレは、その土地の管理者に許可を得て設置する。公園にトイレを設置する場合は、ボランティアの方に公園サポーターになってもらい、植栽を守るための一つの方法として、トイレを設置させて頂いている。

### △ 意見1

公園で餌をばら撒いている方を見る事がある。そういった方々に声掛けしたいと思っはいるが、同じ町会の方なので強く言いにくい。保健所の方に説明して頂いた方が良いと思う。この地区協は、町会の集まりではなく、地域団体からの推薦委員と、公募の方々に組織された団体である。町会活動をしている委員が殆どだが、町会とは別組織。地区協として何ができるかを検討していきたい。

### ○ 意見1に対する回答1

間違えた餌やりをしている方に、正しい餌やりをレクチャーしてもなかなか受け入れてもらえない。後ろ盾があると少しは受け入れて頂けるのではないかと考えている。

### ○ 意見1に対する回答2（新宿区保健所）

保健所では、正しい餌やりの説明をする時、「あなたが可愛がっている猫が皆から憎まれるようになったら嫌でしょ。」という言い方で説明をする。それがきっかけとなり、自分が間違った餌やりをしている事に気付いてくれる方もいる。「どどこで餌やりをしている」という情報があれば保健所から説明に行くので、情報をお寄せ頂きたい。

### ■ 質問3

野良猫はどこで死ぬのか。また、死んだ野良猫はどうするのか。

### ● 回答3-1（新宿区保健所）

体が弱ると、外敵に襲われないところに行って最後を迎える。軒下の奥の方で死んでいる事が多い。見えるところで死んでいる場合は、その土地の管理者が片付ける事になっている。清掃事務所では2,600円で引き取り、合葬している。

● 回答3-2

死んでいる猫を見つけた場合、自宅に連絡を頂けるよう、地域や町会、民生委員の方々にお願いしている。連絡があれば引き取りに行き、哲学堂で火葬してもらっている。

△ 意見2

野良猫問題は都会に巣食う大問題だと感じた。今年の4月から地区協第4期が始まる。ぜひとも、公募委員として加わり、一緒に活動して頂きたい。

2) 各PTからの報告

◇ 広報PT（配付資料①参照）

- ・ みどりの風かわら版10号を発行した。
- ・ みどりの風通常版10号を、2月初旬に発行する事を決定した。内容は、地区協フェスタの特集とする。

◇ ふるさと落合PT

- ・ まち歩きマップ作成中。
- ・ 1月中頃から、下四郵便局への写真展示を始める。

◇ 安全・安心PT

- ・ 次回の無灯火防止啓発キャンペーンは1月に実施予定。

◇ みどり・環境PT（配付資料②参照）

- ・ 放射能についての講演会では、「放射能の子どもへの影響、食物の問題、落合地域の心配な場所、これからどう対処するか」という事をお話頂きたいと希望している。講師の先生が伝えたい事と、こちらが希望している事とをすり合わせ、内容を決めたい。
- ・ 講演会の周知方法は、みどりの風かわら版の配布に加え、口コミでの宣伝にご協力頂きたい。

3) 地区協フェスタの会計報告（配付資料③参照）

- ・ 配布資料③のとおり。

4) 第4期地区協委員の募集について（事務局 配布資料④参照）

- ・ 2/2の全体会から募集を始めたい。
- ・ 現在、任期の記載が無いので、それについては募集人員の項目に記載する。
- ・ 募集方法について、工夫が必要との意見が役員会から出ている。それについてのご意見も頂きたい。

△ 意見1

経費がかかっても良いのであれば、新聞折り込みで配布してはどうか。

○ 意見1に対する回答

折り込み配布するのに、いくつか確認しなければならない事があると思う。一つは、落一管内に限って配布する事が可能なのかという事。もう一つは、委員を募集するに当たり、新聞折り込みという媒体を使うのか、という事。例えば、地区協フェスタ開催のチラシを撒くのに予算を使うのは理解できる。しかし、地区協委員を募集するのに、新聞折り込みを使うというのには、討議が必要だと思う。

△ 意見2

第3期は、公募委員が10名欠員したまま2年が経過したという現実があるので、これまでの概念を変える必要があると思う。ただ、新聞折り込みで委員募集する事が概念的に難しいのであれば、みどりの風の中に募集要項を挟み、それを新聞折り込みしてはどうか。

△ 意見3

みどりの風自体に募集要項を記載するはず。

△ 意見4

記載はするが、募集要項として1枚の紙が手元にあるのと無いのとでは違うと思う。

△ 意見5

最初から新聞折り込みに頼らずに、自分達の口コミや、配布方法、募集要項の工夫など、まずは自分達の努力で何とかしようとするのが先だと思う。

△ 意見6

30名の委員募集の為に新聞折り込みを使うというのはどうかと思う。現在の地区協委員が、新しい委員を一人ずつご紹介くださると、それだけで今の倍の人数になる。口コミに期待したい。

△ 意見7

いつもは町会掲示板に掲示するだけの枚数を各町会に配布しているが、今回は各町会に多めに配布し、町会会議の際に多くの方に渡せるように準備して頂けると良いと思う。

△ 意見8

現在の全体会への出席状況を見ると、委員の出席が全体の半数程度しかない。欠席している委員が来期も地区協委員として残るかどうかの不安がある。全委員が来期もやりたいと思うような地区協を作っていないといけないと思う。

△ 意見9

配布資料④のような募集チラシでは入る人はいないと思う。何か魅力的な一文を入れるとか、そういった工夫が必要だと思う。

○ 意見9に対する回答

配布資料④はたたき台なので、そういった案をこの場を出し合いながら決めて行く。

■ 質問1

何色刷りで印刷するのか。

● 回答1

一色刷りの予定。紙の色はまだ決まっていない。

△ 意見10

配布資料④の「2. 役割」のような文章は分かりずらく、入りたいという気持ちが湧かない。い。文言を変えた方が良い。また、地区協がこれまでやってきた事で、魅力的な活動を具体的に記載した方が良いと思う。

△ 意見11

「1. 地区協議会とは」を、もっと分かり易い文章で見出しのように大きくし、「活動例」をもっと大きくした方がよい。

△ 意見12

無電柱化や開かずの踏切など、現在進行中の課題について記載すると、興味のある方が入ってくれると思う。

△ 意見13

- ・ 掲示板に掲示するものとは別に、口コミ用にチラシを作成してはどうか。その際に、次の2点を記載していただきたい。
- ① 「活動例」の下に「共に活動する仲間を求めています」という一文を目立つ活字で入れる。

- ②「7. 申込み・問い合わせ」の下に、「募集応援委員名」という欄を設け、地区協委員の名前を入れられるようにし、それを配布する委員は、自分の名前をそこに記入をした上で配布をする。そのように地区協委員が募集活動に協力するという事が必要。

△ 意見14

タイトル「落合第一地区協議会第4期委員募集！！」の前に、「あなたも地域課題解決に参加しませんか」のようなキャッチフレーズをいれてはどうか。

<決定事項>

皆さんから頂いた意見を踏まえ、事務局で修正を行い、次回の全体会で再度提示する。

5) センターまつりへの参加について

- ・ 昨年は、センターまつりの前日に震災が起き、センターまつりが中止となった為、準備していた「落合検定クイズ」がそのまま残っている。今年はそのを使って参加をしたい。そこで、実行委員会を立ち上げようと思うが、昨年の実行委員の方々に、今年も継続してやっていただけるかどうかを確認したい。

<決定事項>

昨年度のセンターまつり実行委員の方で、本日欠席の委員には、事務局より確認をとる。2月の全体会で、実行委員長、副委員長、会議日程を決める。

6) 聖母坂無電柱化について、地区協としてどう協力していくか

- ・ 2月の全体会で、所管課から説明をしていただく事になっている。まずは、その説明を聞いてから討議していきたい。

7) 自治基本条例勉強会について

- ・ 勉強会の内容としては、条例を一つ一つ勉強していくのか、或いは、地区協に密接に関係のある部分に絞って勉強していくのか、そこを決めたい。条例に一番詳しい和田委員と役員会とで相談しながら、どのような方法で進めていったらよいかを決めていきたい。
- ・ 会議日程については、月に一度の全体会に組み込んでいきたいと考えている。

8) その他の課題について

配布資料⑤のとおり、「まちの先生見本市」が開催される。前日、エコギャラリーから落四小に机を運び込むなどの手伝いが必要との事なので、ご都合つく方にはお手伝い頂きたい。詳細は、小野委員を通じて確認する。

■ 質問1

「後援」に、落合第一地区協議会の名前が入っているが、手伝い要員を提供するという意味なのか。

● 回答1

そういう意味ではない。このイベントは、毎年、新宿区の様々な地域を回って開催しており、後援には、開催地域の地域団体のうち、いくつかの団体が記載される。

△ 意見1

地区協の名前が後援に入っているのであれば、当日、放射能に関する講演会のチラシを、学校に配布させてもらってはどうか。

○ 意見1に対する回答

落一管内の学校には、前もって配布をしている。

△ 意見2

子どもに配布しても、親まで届かないケースも多いし、忘れてしまう事もあると思う。前日に配布する事は集客に繋がると思う。

△ 意見3

とても良い案だと思う。配布に人員が必要なようであれば協力する。

△ 意見4

みどり・環境PT会議の中で、幼稚園と保育園にもチラシを配布するという意見が出ていたと思う。チラシを増刷するのであれば、その分も増刷して頂きたい。

<決定事項>

チラシの増刷については広報PTで対処する。

6) その他

◎ 推薦団体、地域団体からの報告、連絡等

⇒ スポーツ推進委員

新宿区に体育指導員制度が出来て50周年の祝賀会を2/19に開催する。

⇒ 高齢者給食

高齢者給食には「なでしこ」と「やまぶき」の二つのグループがある。第3期地区協議会には「なでしこ」から推薦委員を選出したので、来期は「やまぶき」から委員が選出される。

⇒ スポーツ・文化協議会

スポーツ交流会では、第1・第3土曜日に落合中学校の校庭と体育館を借りて、地域の子ども達にスポーツを教えている。文化協議会では、3月の終わりに落合中学校でコンサートを開催したい、という話がある。

⇒ 環境アドベンチャー

1/15(日)13:30からゴミ拾いを行う。

⇒ 保護司会

平成24年11月20日に、東京都の更生保護活動に対する顕彰式典を実施する。

⇒ 民生委員

3月に、民生委員協議会でそなエリア東京の見学に行く。町会でも見学に行くところがあると聞いている。防災意識が高まっているので、地区協委員でまだ見学に行っていない方には是非行っていただきたい。

⇒ 町会連合会

1/19(木)に新年会を開催する。地区協からは、副代表1名が参加する。

◎ お願い

各推薦団体委員の方は、ご自分の団体で、現在地区協がどのような事を討議しているか、報告していただきたい。